

第12回浜松グローバルフェア 「ブラジル×日本融和の歩み」
新型コロナウイルス感染防止対策について

(公財)浜松国際交流協会が主催する3月12日の「劇+トーク ブラジル×日本 融和のあゆみ」は、イベント開催等における必要な感染防止策(令和4年3月4日付内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長、基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等)に基づき、以下の通り開催いたします。

1. 開催概要

イベント名	劇+トーク ブラジル×日本 融和のあゆみ
出演者	セメンチーニャ
開催日時	令和4年3月12日(土)(19時~20時30分)
開催会場	クリエート浜松2Fホール
会場所在地	静岡県浜松市中区早馬町2-1
主催者	公益財団法人浜松国際交流協会 〒430-0916 静岡県浜松市中区早馬町2-1 クリエート浜松4F TEL. 053-458-2170 メール: info@hi-hice.jp
収容定員	294人(シアター)
参加人数	最大88人(人と人が触れ合わない程度の間隔、大声がないことを担保)
収容率	約30%

2. 具体的な対策

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

<チェック項目>

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(不織布マスクを推奨。以下同じ。)の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

<主催者による具体的な対策>

- 適切なマスク(不織布マスク)の着用を受付(入口)で呼びかけます
- 不織布マスクを持参していない方には、不織布マスクを配布します
- アナウンス等でマスクの着用を呼びかけます
- ホール内でマスクを着用しない方は退場していただきます

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）
- 主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施

<主催者による具体的な対策>

- ホール入口に手指消毒液を設置します（施設入口やエレベーター前にも手指消毒液が設置されています）
- 受付時に手洗・手指消毒を呼びかけます

③換気の徹底

<チェック項目>

- 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上）の徹底

<主催者による具体的な対策>

- 施設の設備により自動換気がなされます

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施
- 休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築 * 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じて収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。
- 大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保 * 「大声あり」の場合、座席間は1席（立席の場合できるだけ2m、最低1m）空けること。

<主催者による具体的な対策>

- 入口と出口を一方通行とします
- 受付時の混雑を避けるため、一定の間隔をあけて並べるよう係員が誘導します
- 収容率を規定以下の30%とします
- 客席は、1席以上の間隔をあけて設置します
- 舞台から客席の最前列までは6メートルの間隔をあけます

⑤飲食の制限

<チェック項目>

- 飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- 食事中以外のマスク着用の推奨
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛 * 発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討

<主催者による具体的な対策>

- ホール内は飲食禁止とします
- アナウンス等でホール内の飲食禁止を呼びかけます

⑥出演者等の感染対策

<チェック項目>

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する * 体調が悪いときは医療機関等に適切に相談。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 * 練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検査等の対策が必要。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）

<主催者による具体的な対策>

- 出演者やスタッフ等は1週間前から検温を実施します
- 出演者はマスクを着用して演じます

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
 - * 接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（Bluetooth や QR コードを用いたもの等）を活用。
 - * 原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し

措置等により、有症状者の入場を確実に防止

* チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること。

□ 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

<主催者による具体的な対策>

- 申込は事前予約制で、予約時に氏名・住所・電話番号の申し出を求めます
- 入口に非接触型体温計を設置し、検温を実施します
- 受付時に、症状（発熱または風邪等の症状）がないか確認します
- 有症状の方は入場をお断りします

3. お問い合わせ

公益財団法人浜松国際交流協会

053-592-1117(外国人学習支援センター)

053-458-2170(多文化共生センター)